

広島県東広島市

西条酒蔵通り

東広島市の西条は、兵庫の灘、京都の伏見と並び称される銘醸地のひとつです。

古くは、5世紀前半ごろに県内最大の前方後円墳が造られ、古代の安芸の国の中心として栄えていたといわれています。

奈良時代には安芸国分寺が建てられ、江戸時代以前から市の立つ町でした。西国街道が参勤交代に利用されるようになると、広島藩の御茶屋（本陣）が設けられ、宿場町としてさらに発展しました。酒造りが盛んになり、明治時代以降は全国に知られる酒どころになっています。

西条酒蔵通りには今も酒を造っている白壁の美しい酒蔵が並んでいます。西条には7社の蔵元があり、社名を大書した赤煉瓦の煙突は、まちのシンボルです。なまこ壁の酒蔵に混じってペンキ塗りのレトロな洋館や立派な門構えの御茶屋跡など、歴史を感じる建物に出会えます。各蔵では見学をしたり、日本酒を試飲することもできます。平成2年から毎年10月上旬に開催される「酒まつり」には20万人もの人が訪れ、きき酒や様々なイベントで賑わいます。

1633年 建造



御茶屋（本陣）跡

1990年 第1回酒まつり



酒まつり

5世紀前半 築造



国史跡 ミツ城古墳

750年 建立



国史跡 安芸国分寺

1665年 建造



国重要文化財 木原家住宅

1992年 完成



広島中央サイエンスパーク

2016年 完成



芸術文化ホール くらら

J R白市駅から北西へ約2km歩いたところに、平安時代は門前町、戦国時代は城下町、江戸時代からは商業の町として栄えた白市地区があります。江戸時代初期の町屋の木原家住宅をはじめ、明治、大正期の町屋が多く残っています。

東広島市は、昭和49年に市制施行して以来、大学や試験研究機関をはじめ、様々な産業が集積する都市として大きく発展してきました。緑豊かな広島中央サイエンスパークには、酒類総合研究所をはじめ、10を超える研究機関等が立地し、最先端の研究が行われています。

J R西条駅と広島大学を結ぶブルバール（フランス語で「並木道」という意味）は、「手づくり郷土賞」や「都市景観大賞」を受賞した東広島市のシンボルロードです。沿道には芸術文化ホール「くらら」が完成しました。

東広島市は、歴史的なまちなみの保全と活用を図りつつ、緑と建物などが調和した魅力ある都市空間づくりに努めています。



広島県東広島市 白市地区
J R白市駅 下車 北西へ約2km

広島県東広島市 西条地区酒蔵通り
J R西条駅 下車すぐ